

平成 25 年度

日常調査報告書

テーマ

「子どもたちの今を知ろう！ アンケート作成」

「高根沢町活動志民サポートセンターについて」

平成 26 年 3 月

教育住民常任委員会

教育住民常任委員会日常調査報告書

本委員会では、「子どもたちの今を知ろう！ アンケート作成」と「高根沢町志民活動サポートセンターについて」の2つのテーマを選定し、学識経験者を招いて研修会を開催したり関係者との意見交換など、様々な角度から調査を行いました。

これらの調査については未だ半ばであり、引き続き研究を進めていくものがありますが、現在までの経過報告（中間報告）を致します。

I 委員会の活動状況

■ 調査期間 平成25年6月～平成26年3月

委員会開催回数 12回（視察・研修含）

※ p19 「平成25年度教育住民常任委員会活動状況」参照

II 課題検討及び抽出 ●平成25年6月7日(金)、19日(水)

昨今、子どもを取り巻く環境はめまぐるしく変化しています。ITの進歩、グローバル化により子どもの生活に変化が生じているのが現状です。そういった中で、今の子どもたちは学校・家庭において、何を感じ考え思っているのだろうか。また、昔の子どもと比べ何が変化しているのだろうか。という疑問を委員たちそれぞれが持ち考えはじめました。

今の教育現場では大人たちが、大人たちの推論、一定の目的で教育現場を捉

えてしまう、また、その大人たちは自分たちの小中学校時代の経験で捉えがちになってはいないでしょうか。そういったことを今の子どもたちが、どのような心情をもち喜怒哀楽の情を示し、或いは関心のあるものの価値がどのように推移しているのかをしっかりと踏まえていかなければなりません。その上で、現実の教育政策に生かしていくことが必要なのではないでしょうか。私たち大人も今までの蓄積された経験や固定概念を一度白紙にし、子どもたちと向き合うことをしてみるべきと感じます。また、高根沢町議会は議会改革をし、委員会条例を変えました。委員会条例の 27、28 条、日常調査と政策形成というのは他の自治体では持っていない制度であります。これを活発化するためには議会としても様々な提言をしなければなりません。調査無くして発言無しという原則がありその政策形成をする上で 1 番は生の声、私たちの町はこうなのだとわかることが必要です。こういったことから、アンケート作成を日常調査とすることとなりました。

また、超高齢化社会など地域の課題解決に向けて共助、互助のある優しい町づくりをめざし、安心生活創造に寄与するため、有志の方による志民活動サポートセンター検討委員会が設立されました。委員会として志民活動サポートセンターについての理解を深めるため、調査研究を行うこととしました。

Ⅲ 「子どもたちの今を知ろう！ アンケート作成」について

1. アンケート作成のために ～ 研修の実施

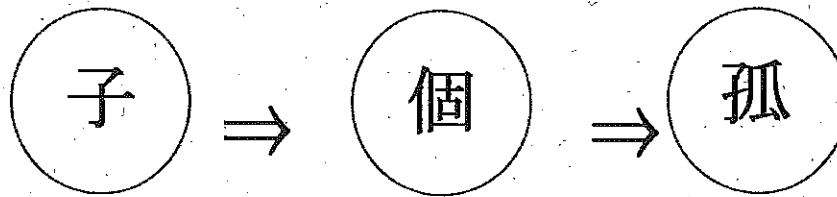
アンケートを作成するに当たっては、今の子どもたちの現状を知る必要があることから、子どもの実情に詳しい違った立場の教育関係者 3 名を講師（講演者）に招き研修会を開催しました。

研修1・「高根沢町の子どもたちの現状について」 ●平成25年6月24日(月)

講師：高根沢町教育委員会教育長 手塚 章文氏

内 容

・結論から言うと



になってきている。

- ・自己責任から他者責任。
- ・先生の孤立化。
- ・自己肯定感が低い（低くなった）。
- ・現場での対応ができない。
- ・子ども中心から自分（親）中心。
- ・命の尊さ。
- ・子どもはゲームを通して人間関係づくり。
- ・お金をかける差が大きくなった。
- ・ひとり親家庭の増加

子どもは変わっていない。周囲の環境が変化している。

質疑応答

- ・メディアの影響が大きく、特に未就学児にとっての在り方を再認識する必要があるのではないか。
- ・情報量の個人差による親の格差 無関心、孤立化
- ・親の教育が必要ではないのか。
- ・PTAの在り方を再検討する必要があるのではないか。
- ・親の孤立化を防がなければならない。

研修 2・「今の子どもたちの現状について」 ●平成 25 年 8 月 6 日(火)

～今と昔の子どもがどう変わったのか・

今の子どもたちが求めているものは?～」

講師：さくら市芳村塾 芳村 寿美子 氏

子どもたちの遊びの変化

- ・ 1960 年代まで 縦社会を構築できていた。
- ・ 1970 年代 子どもたちの縦社会が徐々に崩壊
＝横社会のつながり
- ・ 1980 年代 個の社会へ
＝1983 年 ファミリーコンピュータ
- ・ 1990 年代 日本の青少年犯罪が奇異なものになる
＝親は終身雇用⇒成果主義
子どもたちは 1980 年代の個の社会生れ
- ・ 2000 年代 2000 年 5 月 豊川主婦殺害事件…17 歳
6 月 岡山金属バット母親殺害…16 歳
7 月 山口母親殺害…16 歳
8 月 大分一家 6 人殺傷…15 歳 など
＝犯罪は増えているわけではない。(1930 年代と比べて)

昭和⇒みんなとうまくやっていくためにはどうする? 私たちは

平成⇒表面的なかかわり

○社会が子どもを育てられない社会になっている。

○3 歳でも問題解決能力はある⇒しかし、個のため中書き鵜性になっても育っていない。

○ネットの中では人間関係をリセットできる。

○現実的なロールモデル⇒ヴィジュアルの中のロールモデルへと。

研修3・「現代の教育環境について」 ●平成25年8月6日(火)

講師：元(株)ベネッセコーポレーション勤務 佐貫 薫 氏

戦術～何をすべきか？

・「学び(≠既存の学力)」の意味・意義の強化～勉強して何がいい？→勉強って大事！へ。

(1) 社会→大学→高校→中学校→小学校の教育施策の一貫性瀧

ー目標・目的の明確化

ーシラバス／個性を伸ばしきる

ー制度(6・3・3・4制ありきではない。飛び級、小中高大連携など)

(2) 学校制度別(都道府県の領域で)の改善

(i) 高校瀧

・「学び」の目的の明確化、目標をたてる機会を創る。

・各学校の個性(=目的、シラバス、人材)UP。

・生徒の行きたい！気持ちを壊さないための学区撤廃

・入試制度、問題をソウゾウリョク(想像×創造)型に。≡AO入試

・普通科のレベルアップ。専門科の産学連携を充実化。

(ii) 中学校瀧

・「学び」の目的の明確化、目標をたてる機会を創る。本物との出会い(質×量)。

・個性を伸ばしきる／少人数×習熟度×目的別クラス→量×質。

(iii) 小学校瀧

・中学校とほぼ同じ。バランスは中学校と逆転。

(3) 教育格差(≡収入格差)の是正瀧

ー公的サポート／土曜学習、公的寺子屋(インターン、ボランティア)

(4) 先生の知恵の継承と出会い

現状分析～教育環境のまとめ

世界に向けた「日本」の現状と課題

既存のやり方に縛られない、そして自分で課題を解決するソウゾウリョク(想像力と創造力)、コミュニケーション力が求められる。英語力も。OECDのPISA型スキル。

グローバルゼーション。ソウゾウリョク、COM力、英語力が高い人材育成が必要。【入国】TOIECスコア、COM力重視の採用試験。【課題】変化対応力、ソウゾウリョクUP

国際バカロレア(IB)対応。海外連携(留学など)しやすい環境創り(秋入学、4学期制など)へ。産学連携の活発化。全入時代で大学間競争激化。【入国】センター→「到達度テスト」も。AO入試【課題】世界で通用する人間づくり

特色化。リーダー養成(SELHi、SSH、中高一貫など)、特化系(英語、クリエイティブ)。2014・4月から英語の授業は英語のみとの指針。【入国】特色化選抜(学校が欲しい生徒を選ぶ)、学区撤廃(生徒が学校を選べる。学校間競争)【課題】学力志向の二極分化

1)小中共通

新学習指導要領でカリキュラム増。①基礎学力(A問題対応)、②3つの力(思考力、判断力、表現力)(B問題対応)UPへ。特色ある学校づくり(小規模特認校、小中一貫校など)

2)小学校

・小5・6英語の必修化。・数学・理科系は微増

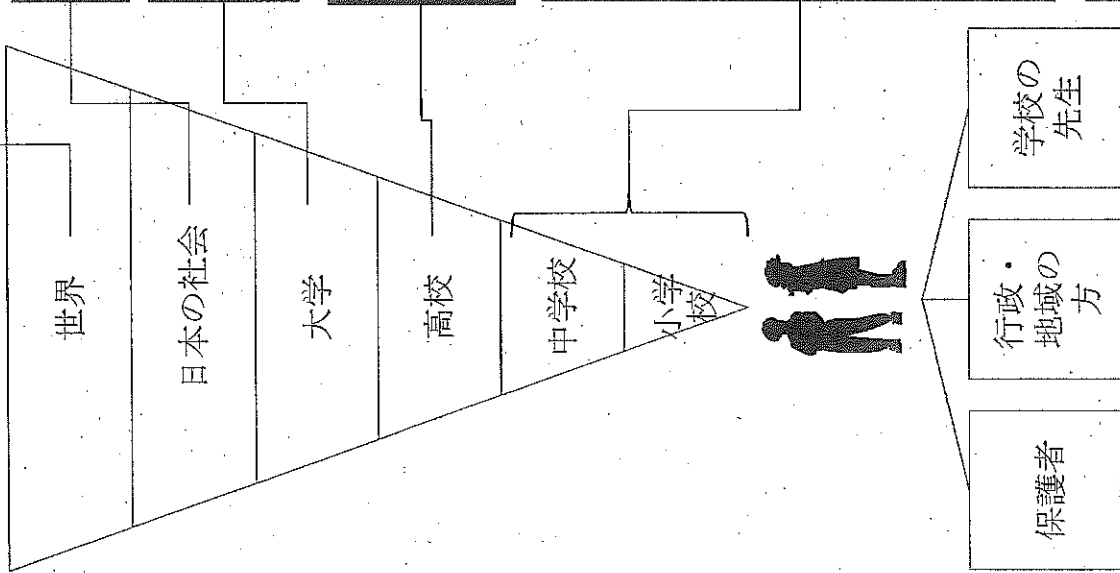
3)中学校

・カリキュラム増

【課題】

- ・学力格差(個人)と教育格差(行政、地域)
- ・PISA型=B問題型の力を高められていない。
- ・英語コーチャング

- ・社会が求める力(英語力、COM力、ソウゾウリョク)とコーチャングスキルのGAP
- ・コーチャングスキルの属人化(レベルもナレッジも)
- ・「子どもたちの未来づくりを徹底応援する」本質的業務以外での多忙感



「栃木」の現状と課題

・宇都宮大学の特色化

- ・特色化選抜(2013年度現中3から開始)、学区維持?撤廃?
- ・TOP高の引き上げ
- ・各学校の特色埋没
- ・一般入試の内容

1)小中共通

・教育レベル平均スコアが高くない(全国学力調査は特に小学校で下位くらす)。

=TOPの引き上げなし、平均ボ

リュームゾーンの下降現象、下位のさ
らなる降下。

・行政間格差

意識が高い自治体とそうではない自治体の教育レベルの差が拡大。

2. アンケート作成とアンケート調査の実施に向けて（経過報告まとめ）

これまでの研修等をもとにアンケートの議論、検討を重ね、子どもの気持ちが率直にわかるよう、小学6年生を対象とした感情別、記述式の「子どもの気持ちアンケート（案）」（p7・8参照）を作成しました。（会議の詳細はp9～16

【参考】 会議の経過 参照）

このアンケートをもとに教育委員会と意見交換をした結果、下記の理由により、教育住民常任委員会で作成したアンケートを教育委員会に預け、アンケート内容・実施時期・方法などを検討していただくことになりました。

■理由

・いじめ、体罰等が大きな社会問題となっている昨今、子どもたちにアンケート調査を実施する頻度が高くなっている。このことは子どもたちへの負担が大きいのことである。

また、来年度Q-Uテスト（学級診断尺度調査）を実施する予定があるため、実施時期・方法について教育委員会で検討していただくこととなった。アンケートの内容自体についても、臨床心理士の資格を持った教育委員、阿中と北中のスクールカウンセラーなど専門員の知恵と経験をいただき、それらを土台とし小学校6年生の実態に合わせた分量、原案づくりをする必要があると判断したことによるものである。

子どもの気持ちアンケート（案）

◆下の質問を読んであなたが思ったことを書いてください。思いつかないときは何も書かなくて大丈夫です。

（このアンケートは誰が書いたのかわかりません。安心して書いてくださいね。）

家族構成 父 母 兄（ 人 弟（ 人 姉（ 人 妹（ 人）

1. あなたがありがとう！と言う時はどんな事をしてもらった時？

[]

2. あなたが自分を“すごい”と思ったり、自分をほめたいのはどんな時？

3. []

4. あなたはどういう人がすごい人だと思いますか？

[]

5. あなたは人のために何かをしてよかったなと思ったのはどんな時？

[]

6. あなたが自分を好きだと感じる時は？

[]

7. あなたが悔しいと思ったのはどんな時？

[]

8. あなたが自分をいやだなとかダメだなと思うのはどんな時？

[]

9. あなたがうらやましいと思ったのはどんな時？

[]

10. あなたが他人の失敗をうれしく（ざまあ〜みろと）思った時はどんな時？

[]

11. あなたが腹の立つのはどんな時？

[]

12. あなたはどんな時心配になりますか？

[]

13. あなたが恥ずかしいとおもったのはどんな時？

[]

14. あなたがすごく悪いことをしたなと思うのはどんな時？

[]

15. あなたが悲しいと思ったのはどんな時？

[]

16. あなたが仕方がないなあ〜とあきらめるのはどんな時？

[]

17. あなたが裏切られたと思ったのはどんな時？

[]

18. あなたが興味をもっていることは何？

[]

19. あなたにとって気の合う人とはどんな人ですか？

[]

20. あなたが勇気を出すのはどんな時ですか？

[]

21. あなたが目標や目的をやりきったと思ったのはどんな時？

[]

22. あなたが責任を感じることはどんな時？

[]

最後まで答えてくれてどうもありがとう！

平成 26 年〇〇月〇〇日

【参考】会議の経過

●1月17日（金）

アンケート作成1. キーワード絞り込み

今までの3回の研修をもとにアンケートの議論、検討を重ねていく。

今の子どもたちの環境は昔とどう変わった？

主語=今の子どもたちは・・・

◎教育長の話から

- ・ゲームを通して人間関係づくり
- ・お金をかけられる差が大きい
- ・ひとり親家庭が多い
- ・メディアの影響を受けやすい
- ・自己責任→他者責任
- ・自己肯定感が低くなった
- ・孤立してくるのでは

◎芳村先生の話から

- ・私たち→私へ、「個」となっている
- ・人間関係をリセットできていると思っている
- ・現実ロールモデル→ヴィジュアルの中へ
- ・表面的なかかわりに
- ・問題解決能力がそだっていない

※キーワード：ゲーム、習い事、テレビ・新聞・本、自分、責任、相談、ロールモデル、友達、

キーワードから今の子どもを知ろう！（選択肢から選ぶ）

【ゲーム】 Point：子どもたちがゲームに何を求めているのか

- ・あなたはゲームを持っていますか
- ・ゲームは誰に買ってもらいましたか
- ・ゲームとゲーム以外のもので遊ぶ（公園や校庭などの外遊びなど）のとどちらが楽しいですか

ゲームと答えた子

- ・なぜゲームが楽しい（好き）のですか 一人でできるから
- ・どんなゲームが楽しい（好き）ですか 戦い・クイズ・
- ・戦いのゲームで敵を倒したときどんな気持ちですか
- ・ゲーム以外の遊びで好きなことはなんですか 外遊び 特になし
- ・時間を決めてゲームしていますか
- ・特にゲームをするのはどんなときですか 一人の時 学校から帰ってから 寝る前
- ・ゲームの中でしりあった友達はいですか
- ・学校などの友達とゲームの中の友達とどちらがはなしやすいですか
- ・それはなぜですか 顔をみて話さないから
- ・この世からゲームが無くなったらあなたはどうか感じますか 耐えられない 別にいい

【習いごと】 point： 子どもの気持ちは？

- ・習いごとをしていますか

習いごとをしていると答えた人

- ・その習いごとは自分から行きたい！と言いましたか
- ・習いごとは週に何回ですか
- ・習いごとは楽しい（好き）ですか
- ・習いごとをやめたいと思ったことはありますか
- ・その理由は 友達と遊びたい 自分の好きなことではないから

やめたいと答えた人

- ・なぜやめることができないのですか
- ・習いごとをしていなかったらやりたいことはなんですか (筆記)

【メディア】 point： 子どもたちがメディアを読み取れるか。

- ・テレビのニュースで思い浮かぶものがありますか (ある人は筆記)
- ・テレビのニュースなどで話されていることを聴いてどう思いますか 本当のこと

【自分】 point： 自己肯定感を持っているか 孤立していないか

- ・自分のことは好きですか
- ・自分の自慢できることを書いてください (筆記 ある・なし)
- ・自分のことをほめてください (筆記)
- ・困ったときに話をできるお友達はいですか
- ・自分のいいたいこと、またはいやなことはいやとはつきり言えますか
- ・自分が間違ったことと言ってしまった場合、あやまることができますか

・友達とけんかしました。あなたならどうしますか

私が悪い場合、 友達が悪い場合

何もしないと答えた人

・ なにもしないのはなぜですか

ほかに友達がいるから

何を言えばいいかわからない

そのうちもとに戻る

●1月21日(火)

アンケート作成2. キーワードからアンケート作成

委員それぞれに前回のキーワードをもとにアンケートを作成してもらう。

遊び

○学校以外で誰と遊びますか。

遊ぶと答えた人

・ ひとりで遊ぶ ・ 友人と ・ 家族と

●週に何日遊びますか。

・ 1～2日 ・ 3～4日 ・ 5～7日

遊ばないと答えた人

・ 部活が忙しい ・ 塾が忙しい

○一緒に遊ぶ人の年代は

・ 同級生 ・ 年上の人 ・ 年下の人

○どんな遊びが好きですか。

・ 外で体を使って遊ぶ ・ ゲームで遊ぶ ・ パソコンで遊ぶ ・ 自然の中で遊ぶ

○あなたの友達は何人いますか。

・ 1人 ・ 2人 ・ 3人

○あなたは学校から帰ってきたら何をしますか。

・ 友達と遊ぶ ・ ゲーム ・ 家で勉強 ・ 学習塾

IT

○携帯、スマートフォンを持っていますか。

持っている人

- ・友達が持っているから
- ・安全性を考えて
- ・便利だから

持っていない人

- ・自分の意思で
- ・親の意思で

○ブログを見たりしますか。

見ると答えた人

- ・友達が見てるから
- ・家族が見ているから
- ・自分の意思で

見ないと答えた人

- ・興味がないから
- ・親の意見で
- ・周囲の人が見ていないから

家族

○あなたは両親に何を望みますか。

- ・優しくしてくれる
- ・話をきいてくれる
- ・旅行や食事を親子で楽しむ
- ・将来のことを考えての家庭教育
- ・勉強に協力してくれる

○あなたの両親はあなたに対し家庭ではどのように接していますか。

- ・優しく見守る
- ・厳しい
- ・勉強に重点
- ・健康と体力の向上

○兄弟は何人がいいと思いますか。

- ・1人
- ・2人
- ・3人
- ・3人以上

相談

○親との会話はどのくらいしますか。

- ・時々
- ・毎日
- ・あまりしない

○未来のビジョンを誰と話しますか。

- ・友達
- ・親
- ・先生

○友達になんでも話せる人は何人いますか

- ・1人
- ・2人
- ・3人

○あなたが困った時、悩みはだれに相談しますか。

- ・父
- ・母
- ・友人
- ・先生
- ・だれもない

○何か困ったことがあったら話せる人はいますか。

話せる人がいると答えた人

・1人 ・2～3人 ・4人以上

話せる人がいないと答えた人

・信頼できる人がいない ・会話が苦手 ・その他

健康

○スポーツは何が好きですか。

・サッカー ・野球 ・武道 ・水泳 ・バレーボール ・陸上競技

○あなたの家庭の食事で何が好きですか。

・パン ・肉料理 ・ラーメン ・カレーライス ・寿司 ・中華料理

○あなたの健康について

・よい ・悪い ・すぐ疲れる ・元気

○夜すぐに

・眠れる ・眠れない

責任

○あなたは責任感についてどのように考えていますか

・約束したことは守る ・頼まれたことは必ず実行する ・約束したができなかったののでできませんでしたと報告する ・約束はしない

将来

○あなたは中学生になったら何を考えますか。

・一所懸命勉強をして大学進学を目指す ・勉強とクラブ活動に重点を考える
・将来の人生の目標を定める

○将来の夢、目標はどのくらいありますか。

・1～4 ・5～9 ・10以上

勉強

○本をどのくらい読みますか。

・月に1～3冊 ・4～6冊 ・7冊以上 ・まったく読まない

○塾に通っていますか。

通っていると答えた人

・週に1～2日 ・3～4日 ・5日以上

通っていないと答えた人

・自分の意思で ・親の反対で ・友人がいていない

●1月28日(火)

アンケート作成1. 感情別にアンケート作成

前回の作成アンケートをもとに、委員それぞれが検討し意見を出し合った。

その結果、感情別に子どもの気持ちアンケートを作ってみるのはどうかという結論で合意した。感情シートを参考に下記のアンケートを作成した。また、子どもの今の気持ちを率直にわかるよう、選択肢から記述式に変更。

喜・・・

安心→あなたがほっとする時はどんな時？

感謝→あなたがありがとう！と言う時はどんな事をしてもらった時？

名誉→自分が“すごい”と思った時は？

尊敬→あなたはどのような人がすごい人だと思いますか？

憧れ→あなたはどんな人・物に憧れますか？

意欲→あなたはどんな時にがんばれますか？

快感→あなたはどんなことをしたときに心の満足を感じますか？

あなたは人のために何かをしてよかったなと思ったのはどんな時？

あなたが自分をほめたい時は？

あなたが自分を好きだと感じる時は？

愛しさ→あなたがかわいいと思う物・事は？

怒・・・

後悔→あの時やっとけばよかったと思うときはどんな時？

無念→あなたが悔しいと思ったのはどんな時？

嫌悪→あなたがいやだなと思うことはなんですか？

軽蔑→あなたがサイテーと思ったのはどんな時？

嫉妬→あなたがうらやましいと思ったのはどんな時？

シャードンフロイデ→あなたが他人の失敗をうれしく（ざまあ〜みろと）思った時はどんな時？

怨む→あの野郎！と思ったのはどんな時？

怒り→あなたが腹の立つのはどんな時？

哀・・・

不安→あなたはどんな時心配になりますか？

恐怖→あなたはどんな時に怖いと感じますか？

後悔→あなたがやっとけばよかったと思うのはどんな時？

恥→あなたが恥ずかしいとおもったのはどんな時？

罪悪感→あなたがすごく悪いことをしたと思うのはどんな時？

劣等感→人より自分がだめだな（自信がなくなった）と思ったのはどんな時？

苦しみ→あなたが苦しいと思ったのはどんな時？

悲しみ→あなたが悲しいと思ったのはどんな時？

諦め→あなたが仕方がないなあ〜とあきらめるのはどんな時？

絶望→あなたがどうしようもない！と思った時ののはどんな時？

空虚→頭が真っ白になったのはどんな時？

楽・・・

好奇心→あなたが興味をもっていることは何？

親近感→あなたにとって気の合う人とはどんな人ですか？

幸福→ラッキーと思ったのはどんな時？

勇気→あなたが勇気を出すのはどんな時ですか？

期待→あなたは誰かに期待することがありますか？

その他・・・

責任→あなたが責任を感じることはどんな時？

やる気が無くなる時はどんな時？

上記のアンケートをもとに議論を重ね、最終的に「子どもの気持ちのアンケート(案)」を作成。

●1月28日(火)

アンケート調査を提言するにあたり教育委員会との意見交換会

作成した子どもの気持ちアンケートをもとに教育委員会と意見交換をしました。
意見交換をしていく中で、いくつかの問題点がでてきました。

教育委員会の意見

- ・たとえ6年生であっても、答えられないのではないか。
- ・学校の中なのか家の中でのことなのかはっきりしないと子どもは答えられない。
- ・質問の量が多すぎる。
- ・このアンケートを単独する時間はないのではないか。
- ・ほかのアンケートとだぶっているものがあるのではないか。

今後の進め方

- ・臨床心理士の資格を持った町の教育委員、阿中と北中のスクールカウンセラーの方の知恵と経験をいただき、それらを土台にして小学校6年生の実態に合わせた分量原案づくりのご提案をしていただくことで一致しました。

IV 「高根沢町志民活動サポートセンター」について(経過報告まとめ)

第357回議会定例会や高根沢町議会だよりNo.126にて調査報告をいたしました。が、当委員会は市民活動センターを研究するために、静岡県三島市特定非営利活動法人グラウンドワーク三島に視察研修に行きました。

また、委員会として志民活動サポートセンター設立に向けての必要性・重要性などを理解を深めるため「高根沢町志民活動サポートセンター検討委員会」と懇談会を開き意見交換をすることも同時に行ってきました。

この高根沢町志民活動サポートセンターにつきましても、引き続き日常調査を行う必要があると考えております。

V 委員会名簿

委員長	川面 充子
副委員長	仙波 清之
委員	鈴木 保夫
委員	松本 潔
委員	加藤 貞夫
委員	大橋 守昭

平成25年度教育住民常任委員会 活動状況

No.	日	時	場	所	会 議 (視 察 ・ 研 修)	事 項
1	6月7日 (金)	定例会常任委員会終了後	役場	特別会議室	(1) 平成25年度所管事務調査及び日常調査について (2) 課題検討及び抽出について (3) 先進地視察研修 (所管事務調査) について (4) その他	
2	6月19日 (水)	9:00～	役場	議長室	(1) 「子どもたちの今を知ろう！」 (仮題) アンケートの作成について (2) その他	
3	6月24日 (月)	9:00～	役場	特別会議室	(1) 「高根沢町の子どものたちの現状について」 講師：高根沢町教育委員会教育長 手塚 章文氏 (2) 質疑応答 (3) その他	
4	8月6日 (火)	10:00～	役場	第1・2会議室	(1) 「今の子どもたちの現状について」 ～今と昔の子どもがどう変わったのか・今の子どもたちが求めているものは?～」 講演者：芳村塾 講師 芳村 寿美子 氏 (2) 質疑応答 (3) その他	
5	10月16日 (火)	13:00～	役場	大会議室	(1) 現代の教育環境について 講演者：元朝ベネッセコーポレーション勤務 佐貫 薫 (さぬき かおる) 氏 [現矢板市議会議員] (2) 質疑応答 (3) その他	
6	11月6日 (水)	13:00～	静岡県三島市内 特定非営利活動法人グラ ウンドワーク三島		「市民活動センターのあり方」について	
7	11月7日 (木)	13:30～	千葉県柏市		児童虐待及びいじめ防止条例について (※子どもたちの今を知るために)	
8	12月25日 (水)	9:00～	役場	議長室	(1) 意見交換会 「町志民活動サポートセンターについて」 ① 志民活動サポートセンターの概要説明 説明者：高根沢町志民活動サポートセンター検討委員会 ② 意見交換 (2) 会 議 「今後の日常調査について」 (2) その他	
9	1月17日 (金)	9:00～	役場	議長室	(1) 「子どもたちの今を知ろう！」 (仮題) アンケートの作成について (2) その他	
10	1月21日 (火)	9:00～	役場	議長室	(1) 「子どもたちの今を知ろう！」 (仮題) アンケートの作成について (2) その他	
11	1月28日 (火)	9:00～	役場	議長室	(1) 「子どもの気持ちアンケート」の作成について (2) その他	
12	2月14日 (金)	13:00～	役場	第1・2会議室	(1) 「子どもの気持ちアンケート」の作成について (教育委員会出席) (2) その他	